

平成 2 4 年度
事業報告

自 平成 2 4 年 4 月 1 日
至 平成 2 5 年 3 月 3 1 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 24 年度事業報告」目次

| | |
|-------------------------------|----|
| < 概要 > | 1 |
| < 事業活動 > | |
| 1 多文化共生の地域づくり | 3 |
| 情報提供 | 3 |
| 日本語学習支援 | 3 |
| 外国人県民の生活支援 | 4 |
| 講座・研修 | 9 |
| 調査研究 | 9 |
| 2 交流による地域づくり | 10 |
| 情報の収集・提供 | 10 |
| 国際交流の推進 | 11 |
| 国際理解の推進 | 17 |
| 国際交流団体等の連携 | 18 |
| 3 次代を担う人づくり | 19 |
| 講座・研修 | 19 |
| 海外研修員等の受入れ | 21 |
| 4 震災被災者の支援 | 21 |
| 東日本大震災津波多言語記録集の作成 | 21 |
| 在住外国人へのオリエンテーションの実施 | 21 |
| 被災地外国人相談 | 22 |
| シンポジウムの開催 | 23 |
| 調査研究 | 23 |
| < 管理部門 > | |
| 評議員会・理事会等の開催状況 | 24 |
| 1 評議員会・理事会等 | 24 |
| 2 専門委員会 | 26 |
| 立入検査等 | 26 |
| 業務執行体制等 | 27 |
| 寄附金及び賛助会員の状況 | 27 |

平成 24 年度事業報告

< 概 要 >

平成 24 年度は、事業計画に基づいて、「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」、「震災被災者の支援」の 4 つの柱により、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に係る事業に取り組んだ。特に、平成 23 年度に引き続き、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波の被災地の復興に向けて、被災地の国際交流団体の活動を支援するとともに、被災した外国人県民の生活相談などを重点的に実施した。

また、事業実施に当たっては、本県が誘致に取り組んでいる国際リニアコライダの誘致活動に協力するため、岩手県国際リニアコライダー推進協議会に加入し、啓発活動に取り組むとともに、講演会や各事業の中で国際リニアコライダーをテーマにとりあげ、国際交流やグローバルな視点から誘致の意義や本県の多文化共生について考える機会を作ったほか、ホームページや企画展示においても、国際リニアコライダーの誘致に関して英語により国内外に情報発信を行った。

「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」及び「震災被災者の支援」における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

「多文化共生の地域づくり」においては、外国人県民の生活相談の実施、多言語サポーターの育成と活用、日本語サポーターの育成と活用、私費外国人留学生の支援、国際理解ワークショップの開催などを実施した。

また、ホームページを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で作成し、外国人県民に役に立つ各種生活情報や県民と外国人の交流イベントの情報の提供に努めたほか、新たに、海外の県人会や元国際交流員など、本県に縁のある海外在住者からの近況レポートを紹介することにより、世界と岩手をつなぐネットワークの形成促進を図った。

その他、日本語教室運営を支援するサポーターを育成し、日本語教室の充実を図るため、陸前高田市で日本語教室開設研修会を開催した。

「交流による地域づくり」においては、国際交流のイベント情報などを紹介する情報紙「jien go」を 6 回発行し、県民の国際交流への参加機会の拡大に努めるとともに、機関誌「いわて国際交流」を 2 回発行し、国際リニアコライダーの誘致や東日本大震災を振り返る特集を組み、その時々テーマを深める紙面づくりに努めた。

また、県の国際交流センターの管理運営を行い、情報提供、交流イベント開催、各種相談などにより、県民と外国人の交流等の拠点機能を果たすよう努めた。外国人との交流会「ちゃっとランド」は、平成 14 年度の開始から 150 回を迎えたので、記念交流パーティを開催した。アイーナで開催した「2012 ワン・ワールド・フェスタ in い

わて」には過去最高の参加者数（1,850人）を記録したほか、陸前高田市と宮古市でも開催し、地域での国際交流の機会をつくった。特に、陸前高田市の開催に当たっては、被災した外国人などが中心となって企画運営を行い、被災地支援への「ありがとう」のメッセージを発信した。

また、「ワン・ワールドで踊ろう さんさ踊り」事業として、在住外国人や賛助会員などとともに盛岡さんさ踊りパレードに参加したほか、外国文化紹介講師派遣などの事業により、県民と外国人の交流を深める機会の設定に努めた。

その他、「企画展示」では、ロンドンオリンピックや大草原の小さな家などタイムリーなテーマなどを取り上げるとともに、関連した講演会も開催し、県民の国際理解の推進に努め、県内外から多くの参加者を得た。

「次代を担う人づくり」においては、「いわてグローバル・カレッジ」を開催し、8回の講座を通じて、岩手という視点を活かしつつ、世界のことを考える機会の提供に努めたほか、将来、国際社会で活躍し、岩手の多文化共生社会を担う次世代の人材育成を目的に「いわて青年国際塾」を5回シリーズで開催し、海外留学に関する講演のほか留学疑似体験の合宿研修などを実施し、参加者の意欲高揚を図った。

また、「国際理解ハンドブック（パート3）駆け抜けた男」を作成し、日韓交流及び国際理解教育の推進に努めた。

「震災被災者の支援」においては、被災地外国人相談員を委嘱し、各種の生活相談に応じるとともに、震災の経験等を新たに岩手に住む外国人にも伝えるべく、被災した外国人へのインタビューや災害時の心構えなどを掲載した東日本大震災津波多言語記録集「在住外国人の3・11」を発行し、外国人へのオリエンテーションなどで活用した。

また、岩手県・宮城県・福島県の地域国際化協会が連携し、シンポジウムと被災地視察を行う「伝える・支える・立ち上がる・・・未来に繋げ、私たちの経験」を開催し、震災時の外国人支援について全国に向けて発信した。

なお、大規模災害時において東北と北海道圏内の地域国際化協会が相互に協力し、災害時の外国人支援体制の整備を図る「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定」を平成25年度当初に締結できるよう協議を進めた。

< 事業活動 >

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

多言語ホームページによる情報提供

ホームページ (<http://www.iwate-ia.or.jp/>) において日本語・英語・中国語・韓国語により、協会からのお知らせ、イベント等の情報、在住外国人への生活情報等の発信を行ったほか、「海外からのネットワーク」では、海外の県人会や海外在住の県人、以前岩手に在住していた外国人から各国の情報や海外での震災支援活動などを紹介した。また、ツイッターとフェイスブックを連動させ、随時、新しい情報を日本語・英語・中国語で発信した。なお、ホームページの来訪者数が前年度に比べて大幅に減少したが、前年度は東日本大震災時に震災関連情報への国内外からのアクセスが増加したことによる。

- ・ ホームページの来訪者 43,881 件 (前年度 56,882 件)

多言語モバイルサイトによる情報提供

多言語 (日本語・英語・中国語) の携帯電話ホームページサイトによりイベント情報等を迅速に提供した。

- ・ 携帯電話ホームページ情報提供件数 517 件 (前年度 792 件)

多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

県内外の国際交流・協力のイベント情報や外国人への生活情報に加え、県内在住の外国人の紹介、海外体験談、イベントレポートなどを掲載した国際交流情報紙「jien go」を日本語版、英語・中国語版で、隔月発行した。

- ・ 日本語版 (隔月 6 回) 合計 18,500 部 (3,083 部 / 回平均)
 - ・ 英語・中国語版 (隔月 6 回) 合計 14,500 部 (2,417 部 / 回平均)
- (前年度 日本語版 (隔月 6 回) 合計 18,000 部、英語・中国語版 (隔月 6 回) 合計 15,000 部)

(2) 日本語学習支援

日本語サポーターの登録・育成と活用

地域住民等とのコミュニケーションが円滑に進み、在住外国人が安定した生活を送ることができるよう、在住外国人の日本語学習を支援した。

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズにきめ細やかに対応できるよう、在住外国人に日本語を教える日本語サポーターの登録を行い、依頼のあった外国人に紹介して活用を図った。

- ・ 登録者 187 人 (前年度 158 人)
- ・ 活用 21 件 (前年度 33 件)

イ 日本語教室開設研修会

地域在住外国人が日本語を学ぶ機会の拡大を図るため、陸前高田市国際交流協会と協働で、陸前高田市での日本語教室の開設を目的とした日本語サポーターの研修会を開催した。

会場 陸前高田市役所仮庁舎
 開催回数 12回
 受講者数 5人(延べ34人)
 研修講師 岩手大学国際交流センター准教授 松岡洋子氏 他

ウ 日本語サポーター実践研修会

日本語サポーターの方々の教材の活用方法や指導技術の向上とともに各サポーター間の情報や意見交換を目的に、国際交流センターで実践者研修を開催した。

開催回数 2回 延べ34人
 (前年度 3回 延べ71人)
 講師 澤田幸子氏 (HIDA(財)海外産業人材育成協会日本語講師)
 日時 平成25年2月2日(土) 12:00 - 17:00
 テーマ 「どこが変わった? 『みんなの日本語 初級1』改訂のポイント!」
 参加者数 18人
 日時 平成25年2月3日(日) 9:00-15:00
 テーマ 「次のステップに進むには? 中級学習者指導のヒント」
 参加者数 16人

日本語教室運営支援

地域の日本語教室の経済的負担を軽減して、在住外国人の日本語学習を支援することを目的に、日本語教室の運営費に対して助成した。

・助成数 5件 助成総額 207千円(前年度4件 175千円)

| 事業名 | 主催団体 | 助成額 (総事業費) |
|-------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 「日本語教室」の開催 | 川崎21世紀国際交流クラブ | 50,000円 (122,135円) |
| いわて多文化子ども教室 むつみっこくらぶ | いわて多文化子ども教室 *むつみっこくらぶ | 7,000円 (11,279円) |
| 日本語交流室「じょい」日本語指導 | 日本語交流室「じょい」 | 50,000円 (92,022円) |
| 日本語教室「いっぱいぽ」運営事業 | 日本語教室「いっぱいぽ」 | 50,000円 (133,597円) |
| 日本語語学講座 | 一関国際交流協会 | 50,000円 (257,402円) |

(3) 外国人県民の生活支援

外国人相談の実施

在住外国人が地域社会の一員として安定した生活を送ることができるよう、在住外国人が抱えている様々な問題を解決に導くことを目的に、岩手県から委

託を受け様々な外国人相談を実施した。国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」については、スタッフ職員を配置し、電話や来局して寄せられる日常的な相談に対応した。また、母国語で寄せられる事案については、中国人の相談員に加えて平成 25 年 1 月から韓国人の相談員を配置し、相談体制の充実を図った。また、常時母国語で相談に対応できるよう、中国人、韓国人の相談補助員を配置し、きめ細やかに支援を行った。

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育てに関することなど幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置した。
 ・相談件数 562 件（前年度 446 件）（イ、ウの相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

| | コミュニケーション | 住居 | 教育 | 医療・保健・福祉 | 行政手続 | その他 |
|-------|-----------|----|----|----------|------|-----|
| 24 年度 | 113 | 4 | 59 | 40 | 110 | 236 |
| 23 年度 | 86 | 9 | 40 | 32 | 126 | 153 |

イ 相談専門員の配置

中国語及び韓国語で対応する相談専門員を配置し、県内在住外国人数が多い中国、韓国籍の在住外国人からの相談に対応した。

- ・外国人相談専門員(中国、1 名) 火曜日～金曜日 12:30～16:30
- ・外国人相談専門員(韓国、1 名) 水曜日 15:00～17:00
- ・外国人相談補助員(中国 1 名・韓国 1 名) 隔週月曜日～金曜日 17:30～21:30
- ・外国人相談補助員(韓国 1 名) 土曜日・日曜日 16:30～21:30

ウ 行政手続定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続きなどの課題を解決するため、岩手県行政書士会と連携し、定期的に相談日（毎月第 3 水曜日）を設けた。

- ・開設回数 12 回 相談件数 5 件（前年度 12 回 5 件）

エ 地域巡回相談

地域在住の外国人や日本語教室を支援するため、外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・巡回教室等数 12 教室等（前年度 9 教室等）
- ・相談対応件数 32 件（前年度 34 件）

（相談内容の内訳）

| | 在留資格 | 離婚 | 日本語 | 子ども | 手続き(医療) | 夫婦関係 | 仕事 | 相談対応 |
|-------|------|----|-----|-----|---------|------|----|------|
| 24 年度 | 3 | 1 | 5 | 3 | 1 | 7 | 7 | 5 |
| 23 年度 | 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | 1 | 4 | 7 |

多言語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人が地域の中で不便なく生活できるよう、通訳や翻訳のほか、様々な分野において多言語によるアドバイスなどの支援を行った。

ア 多言語サポーターの登録・活用

災害時や医療受診時の通訳、学校における外国人児童生徒等に対する通訳や生活上の諸手続きに関する通訳等の支援に対応できるよう多言語サポーター

の登録を行い、依頼のあった際には活用を行った。

・登録者 219人 活用 17件 (前年度 179人、12件)

対応言語数 27か国

イ 多言語サポーター研修会

(ア) 在住外国人向け通訳研修

通訳のほか、自らの経験を踏まえた生活上のアドバイスができる在住外国人の人材育成を図るとともに、在住外国人ネットワークの形成を支援することを目的に、在住外国人を対象とした通訳研修を国際交流センターで開催した。フィリピン人が外国人登録者の中で3番目に多いにも関わらず、研修参加者が少ないことからフィリピン人サポーターの人材育成が課題である。

研修回数；5回 参加者数 延べ63人 (前年度5回 延べ83人)

a 日時 平成24年11月25日(日) 13:00～15:00

「新在留管理制度について」

講師 行政書士 横山 勝氏

参加者数 15人

b 日時 平成24年12月9日(土) 13:00～15:00

「地域と繋がる」

講師 川崎21世紀国際交流クラブ代表 佐藤勇三氏

参加者数 17人

c 日時 平成24年12月16日(土) 13:00～16:00

「国民年金制度、個人住民税のしくみについて」

講師 盛岡市医療助成年金課年金係長 猿川由子氏

盛岡市民税課副主幹兼市民税課第二係長 吉田宏明氏

参加者数 15人

d 日時 平成25年1月12日(土) 13:00～16:00

「災害時に必要な情報の通訳・翻訳対応」 分野別合同通訳研修

講師 岩手県NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス氏

岩手大学研究交流部国際課外国語専門職員 崔 華月氏

多言語サポーター ディーン・ホルデン・ルッツラー氏

岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 佐々木匡人氏

岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 大和田加代子氏

岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 加藤直子氏

通訳指導者 岩手県NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル氏

岩手県NPO・文化国際課国際交流員 宮 静氏

多言語サポーター 朴 宣姫氏

岩手県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

岩手県国際交流協会国際交流補助員 ミランダ・カロル

参加者数 35名(内在住外国人向け通訳研修参加者 10人)

e 日時 平成25年1月27日(日) 13:00～16:00

「子育てに関する通訳・翻訳対応」 分野別合同通訳研修

講師 岩手県立大学看護学部 環境・保健看護学部講師 松川久美子氏
 通訳指導者 岩手大学研究交流部国際課外国語専門職員 崔 華月氏
 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス氏
 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サト氏
 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静氏
 多言語サポーター ディーン・ホルデン・ルッツラー氏
 多言語サポーター 朴 宣姫氏
 岩手県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏
 岩手県国際交流協会国際交流補助員 ミランダ・カロール
 参加者数 17人(うち在住外国人向け通訳研修参加者 6人)

(1) 分野別通訳研修

多言語サポーターの能力向上を図り、災害時や医療受信時、学校現場での外国人児童生徒等に対する通訳に対応できるよう、国際交流センター等で研修会を開催した。

今回は、被災地外国人相談員の方々を講師に招き、震災時の外国人の状況や必要な支援について考えた。また、実際に震災時に通訳や翻訳を行った方々の話を聞くとともに、現場での通訳や翻訳をテーマに取り上げ実地研修を行った。

また、一部、外国人向け通訳研修と同時開催し、外国人同士や地域間でのネットワークの構築も図った。

・開催回数 3回 参加者 延べ59人(前年度2回 延べ48人)

a 日時 平成25年1月12日(土) 13:00~16:00

「災害時に必要な情報の通訳・翻訳対応」 分野別合同通訳研修

講師 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス氏
 岩手大学研究交流部国際課外国語専門職員 崔 華月氏
 多言語サポーター ディーン・ホルデン・ルッツラー氏
 岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 佐々木匡人氏
 岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 大和田加代子氏
 岩手県国際交流協会被災地外国人相談員 加藤直子氏

通訳指導者 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル氏
 岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静氏
 多言語サポーター 朴 宣姫氏

岩手県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

岩手県国際交流協会国際交流補助員 ミランダ・カロール

参加者数 34名(内在住外国人向け通訳研修参加者 10名)

b 日時 平成25年1月13日(日) 10:00~12:00

特別研修「学校における通訳・翻訳対応」

講師 いわて多文化子ども教室むつみっこくらぶ代表 村井好子氏
 岩手県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

参加者数 8名

c 日時 平成25年1月27日(日) 13:00~16:00

「子育てに関する通訳・翻訳対応」 分野別合同通訳研修

講師 岩手県立大学看護学部 環境・保健看護学部講師 松川久美子氏

通訳指導者 岩手大学研究交流部国際課外国語専門職員 崔 華月氏

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員アマンダ・クリプス氏

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 イアン・サトル氏

岩手県 NPO・文化国際課国際交流員 宮 静氏

多言語サポーター ディーン・ホルデン・ルッツラー氏

多言語サポーター 朴 宣姫氏

岩手県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

岩手県国際交流協会国際交流補助員 ミランダ・カロール

参加者数 17名(内在住外国人向け通訳研修参加者 6名)

私費外国人留学生支援

ア 私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、月額4万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職を支援するためのフォーラム等への積極的な参加を得た。

・奨学金受給者10人 国際交流等活動実績 延べ199件(前年度10人 延べ348件)

| 氏名 | 国籍(出身) | 学校名 | 在籍学部等及び学年 | 区分 | 活動件数 | 支給期間 |
|-----|----------|------|----------------|------|------|-------------------|
| 劉 傑 | 中国(山東省) | 岩手大学 | 教育学研究科 修士1年 | 国際交流 | 11 | h24.4 ~ h25.3 |
| 王 梓 | 中国(山東省) | 岩手大学 | 工学研究科 修士2年 | 国際交流 | 11 | h24.4 ~ h25.3 |
| 張 博 | 中国(陝西省) | 岩手大学 | 教育学研究科 修士1年 | 国際交流 | 15 | h24.4 ~ h25.3 |
| 王 暁 | 中国(江蘇省) | 岩手大学 | 教育学研究科 修士1年 | 国際交流 | 14 | h24.4 ~ h25.3 |
| 姜珍珍 | 中国(山東省) | 岩手大学 | 教育学研究科 修士2年 | 国際交流 | 20 | h24.4 ~ h25.3 |
| 黄 晗 | 中国(四川省) | 岩手大学 | 教育学研究科 修士2年 | 国際交流 | 14 | h24.4 ~ h25.3 |
| 郝一琪 | 中国(山東省) | 岩手大学 | 工学研究科 修士2年 | 就職支援 | 5 | h24.4 ~ h24.9 |
| 朴銀貞 | 韓国(ソウル市) | 富士大学 | 経済学部 4年 | 就職支援 | 112 | h24.4 ~ h25.3 |
| 金倫煥 | 韓国(ソウル市) | 富士大学 | 経済学部 4年 | 就職支援 | 14 | h24.4 ~ h25.3 |
| 陳 忱 | 中国(山東省) | 富士大学 | 経済学部 4年 | 国際交流 | 13 | h24.4 ~ h25.3 |
| 金亨烈 | 韓国(ソウル市) | 富士大学 | 経済学部 3年 | 国際交流 | 6 | h24.10 ~ h25.3 |

イ 関係機関と連携しながら外国人留学生の県内就職を支援するため、岩手県が実施(協力・岩手県外国人留学生就職支援協議会)した就職支援セミナーをはじめ、就職関連の情報提供を行った。

ウ 帰国した県国際交流員や海外研修員、いわて留学生大使、各国の岩手県人

会、海外在住の県人など、岩手とゆかりのある方々を通じて世界と岩手をつなぐネットワーク構築を図るため、海外から寄せられた情報をホームページに掲載した。

(4) 講座・研修

いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について考える契機とし、県民を対象とした8回シリーズのセミナーを開催した。

その中で、県全体として誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー」もテーマに取り上げ、広く一般県民に ILC 誘致の意義について考える機会となった。

全体を通して若い世代の参加者が少ないことから、高校生や大学生などの参加者拡大が今後の課題である。

・開催回数 8回 参加者 延べ 345人（前年度 8回 延べ 265人）

| | |
|-----|---|
| 第1回 | 日 時 / 平成 24 年 9 月 9 日 (日) タイトル / 地方におけるグローバル人材育成 講 師 / 学校法人立命館副総長 モンテ・カセム氏 |
| 第2回 | 日 時 / 平成 24 年 9 月 23 日 (日) タイトル / 対話力入門 講 師 / 日本教育大学院大学客員教授 北川達夫氏 |
| 第3回 | 日 時 / 平成 24 年 10 月 7 日 (日) タイトル / 被災地コミュニティ形成と国際協力について 講 師 / つどい・大槌の人とまちを育む・事務局長 元持幸子氏 |
| 第4回 | 日 時 / 平成 24 年 10 月 29 日 (月) タイトル / いわてから世界へ～先端科学（超伝導、リニアコライダー）が岩手にもたらすもの 講 師 / 芝浦工業大学学長 村上雅人氏 |
| 第5回 | 日 時 / 平成 24 年 11 月 11 日 (日) タイトル / グローバル化の中の日本語 講 師 / 岩手大学教育学部教授 大野眞男氏 |
| 第6回 | 日 時 / 平成 24 年 11 月 25 日 (日) タイトル / 歴史を糧とした和解と交流 講 師 / 東京女子大学現代教養学部教授 黒沢文貴氏 |
| 第7回 | 日 時 / 平成 24 年 12 月 2 日 (日) タイトル / グローカル公共哲学と北東北の活性化 講 師 / 東京大学大学院総合文化研究科教授 山脇直司氏 |
| 第8回 | 日 時 / 平成 24 年 12 月 16 日 (日) タイトル / 姉妹都市交流がつなぐ震災支援 講 師 / 岩手県立大学共通教育センター教授 佐藤智子氏 |

国際理解ワークショップの開催

国際理解の推進を図ることを目的に、岩手大学や岩手県立大学盛岡短期大学部など県内の学校等からの依頼に応じて、多文化共生などをテーマにした国際理解ワークショップを開催した。

・開催回数 7回 参加者 延べ 82人（前年度 12回 延べ 131人）

(5) 調査研究

国際理解ハンドブック「いわて国際理解ハンドブック (Part3)」の作成
ベルリンオリンピック男子マラソンの優勝選手である孫基禎をテーマにした
国際理解教育の教材「いわて国際理解ハンドブック～駆け抜けた男」を作成し、
教育機関等に配布した。

作成部数 200 部

2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

国際交流・協力・多文化共生に関する「情報収集・提供」の拠点施設として
外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材、人民日報ほか4か国の外国語の
新聞、海外の雑誌、海外留学関連を始め様々の国際交流・国際協力・多文化共
生に関する情報の収集・提供を行った。

特に、協会の資産である県内外の関係機関、団体や個人とのネットワークを
活用して、質の高い情報や資料を集積し、国際交流センターを活用して情報を
発信するとともに、広く在住外国人や県民の語学学習、情報収集などに無料で
提供した。

加えて、在住外国人の協力を得るとともに、各国大使館や政府観光局などを
通じて国別、地域別の情報や資料、民族衣装や各国の物品などを収集、各イベ
ント時での使用や外部への貸出など、国際理解の推進に活用した。

- ・ 図書購入 485 冊 (前年度 326 冊)(寄贈を含む。)
- ・ 蔵書等のデータベース登録数 7,415 冊 (前年度 7,153 冊)
- ・ 資料収集国数 190 か国 (前年度 190 か国)
- ・ 国別ボックス数 21 箱 (65 か国)

メールリングリスト「いわてプラネット」の運営

メールリングリスト「いわてプラネット」(i-planet@freeml.com)を運営し、
県内外で行われる国際交流・協力に関するイベントや外国人支援・多文化共生
に関する情報を随時提供した。

- ・ メールリングリスト「いわてプラネット」
登録者数 395 人 (前年度 379 人)

多言語の国際交流情報紙「jien go」のメールマガジンの発信

メールマガジン登録者へ情報紙の内容を定期的にメールで提供した。

- ・ メールマガジン登録者数 587 人 (前年度 587 人)

機関誌「いわて国際交流」の発行

グローバルな視点から国際リニアコライダーや復興支援に関することなど
を特集に取り上げ、年2回発行した。県内の公共機関、各市町村、国際交流開

係団体、学校関係機関などに送付し広く一般県民にグローバル化についての啓発普及を行った。また、多言語版（英語・中国語）については、協会のホームページに掲載し、在住外国人の方々にも同様の啓発普及を行った。

・日本語版 7,000部/年2回（前年度7,000部/年2回発行）

(2) 国際交流の推進

国際交流センターの運営推進

岩手県から委託を受けて、県民交流ラウンジや図書資料コーナー、日本語教材室・日本語学習コーナー、相談室、展示コーナー、ワーキングルームなどの施設の運営を行い、広く一般県民に利用しやすい施設の提供を図った。

また、協会設立以来20年間蓄積してきたノウハウを活用し、県民から出された要望なども踏まえながら、本県国際交流活動等の中核的推進組織としての独自の視点、判断に基づいて、独自予算を使いながら、図書や情報などの収集・提供業務を行った。

「県民交流ラウンジ」については、外国人の国際交流補助員、外国人相談補助員を配置するなど、外国人県民が気軽に立ち寄り、県民と外国人が触れ合う環境となるよう配慮した。語学コーナー及び国際交流活動専用テーブルでは、語学学習や外国語での交流に活用できるように工夫した。

「日本語教材室・日本語学習コーナー」については、日本語サポーターや在住外国人が充実した日本語学習ができるよう、新しい教材の紹介などを行った。日本語学校の留学生の来局が減少したことから、日本語教材室・日本語学習コーナー利用率減少にも大きく影響している。

「展示コーナー」については、「新渡戸稲造150周年記念」「国際リニアコライダー」「大草原の小さな家～ローラの世界」など、タイムリーなテーマを取り上げ、年間を通じて「企画展示」を開催しコーナーの活用を図った。

当センターなどを会場に「ワン・ワールド・フェスタ」などイベントを開催することによって、外国人も含め広く県民の方々に当センターの周知することができた。また、「ワン・ワールド・フェスタ」については、県内国際交流関係団体やボランティアの方々と連携して企画運営し、参加者が増加したことからセンターの利用促進を図ることができた。

以上のもとに、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターの業務を推進するため、スタッフ6名及び外国人の国際交流補助員1名を配置し、センター利用者への対応、情報収集・提供、在住外国人の相談、国際理解推進等にあたった。

| | | |
|--------------|----------|---------------|
| ・来館者数 | 148,521人 | （前年度146,757人） |
| ・インターネット利用者数 | 6,247人 | （前年度6,573人） |
| ・情報提供件数 | 1,174件 | （前年度1,026件） |

センター運営サポーターの登録・活用

国際交流センターの運営や協会事業のサポートなどを行うボランティアとしてセンター運営サポーターの登録を行い、チャットランドやグローバル・カレ

ツジなどの当日運営のサポートなどで活用を図った。

・登録者 11人（前年度 20人）

外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民に外国人との交流の場を設け、各国の文化紹介などをテーマに、様々な国籍の在住外国人等をゲストスピーカーに迎え、毎月開催した。

また、8月25日には第150回記念交流パーティを実施し過去に参加してくれた多くの外国人の参加を得、交流を深めた。

・開催回数 12回 参加者 延べ801人

（前年度 12回 延べ702人[アイーナ（12回）のほか、西和賀町、一関市室根町、九戸村、大船渡市で開催]）

| 開催日 | タイトル | ゲストスピーカー | 参加人数 |
|----------------|-----------------------------------|--|------|
| 平成24年 4月21日 | 第146回 アイルランドを知ろう！ | ローリー・カラハン氏（CIR） | 42 |
| 5月19日 | 第147回 ルーマニアの魅力！ | ドラクシャネ・コトリン氏 （ルーマニア出身） | 42 |
| 6月16日 | 第148回 アジアの楽園（パラダイス）～ フィリピン！ | 高橋オフェリア氏（フィリピン出身） 西村セシリア氏（フィリピン出身） | 37 |
| 7月21日 | 第149回 もっと知ろう～アメリカ！ | アマンダ・クリプス氏（CIR） （アメリカ出身） | 76 |
| 8月25日 | 第150回 世界は友達！ | アハマド・フィルダウス・ビン・アズライン氏（マレーシア） 周麗娜氏（中国） ラルセンス・マルコム氏（カナダ） 及川さおり氏（日本、 パラグアイOV） ドラクシャネ・コトリン氏（ルーマニア） 西村セシリア氏、高橋オフェリア氏（フィリピン） ワン。 フィーリン氏（シンガポール） | 36 |
| 9月15日 | 第151回 私と韓国を旅してみませんか？ | 金倫煥氏（韓国出身） | 32 |
| 10月20日 | 第152回 カンフーを楽しもう！ | 斉藤佑太郎（協会スタッフ） 斎藤 明さん、樋口郁乃さん、小 森芽衣さん（日本太極拳協会） | 43 |
| 11月18日 | 第153回 和ころを愉しむ～茶道・書 道・遊び | 書道：伊藤康子氏 折り紙：及川さおり氏 茶道：小岩梨紗氏、廣田なつみ氏、 南幅 憂理氏（日本出身） | 365 |
| 12月22日 | 第154回 ようこそ、“ローラ物語り”の世 界へ | 講師：谷口由美子氏（児童翻訳家） ゲストスピーカー：ディーン・ホ ルデン・ルツラー氏（アメリカ出 身） | 92 |
| 1月19日 | 第154回 肥沃の大地～タイ王国！ | シラバコング・ピヤマース氏（タイ 出身） | 36 |
| 2月23日 | 第155回 中国の旧正月ってどんなもの！ | 吉田亜未（協会スタッフ） | 52 |
| 3月16日 | 第156回 南アメリカの至宝～コロンビア！ | 吉田クラディス氏（コロンビア出 身） | 46 |

「2012 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、外国人やボランティアの方々等と連携・協働して「2012 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を国際交流センター及び陸前高田市、宮古市で開催した。

平成 24 年度は参加者数が 81 人増加したほか、ボランティア数が 106 人から 160 人に大幅に増加した。参加者は幅広い年代の方々や家族連れ、毎年参加しているリピーターも増加している。また地域でのイベントの参考とするために参加する市町村国際交流協会の関係者も年々増加している。

地域開催については、各地域の特色を生かし、地域の団体や外国人の方々を中心となって企画運営にあたるとともに、アイーナで開催したプログラムの一部を加え、フェスタ当日は当協会と協働体制で運営にあたった。

国際交流センターにおける開催

開催日 平成 24 年 11 月 18 日（日）

会場 アイーナ

参加者 1,850 人（前年度 1,769 人）

ボランティア 外国人 77 人、日本人 70 人、関係団体 13 人 合計 160 人（前年度 106 人）

プログラム まわって知ろう世界ツアー～Tour Around the World～、1つのステージから広い世界へ～Music & Dance～、民族衣装試着、世界のランチタイム、フェアトレード・カフェ“ふいっと”、子供の広場、ちゃっとランド～書道・日本の遊び・茶道～、国際理解ワークショップ

2012 ワン・ワールド・フェスタ in 陸前高田

開催日 平成 23 年 12 月 18 日（日）

会場 陸前高田市米崎コミュニティーセンター

参加者 152 人

共催 陸前高田市国際交流協会

プログラム 各国紹介ブース、民族衣装の試着、キッズ体験、英語で遊ぼう、インターナショナルレストランカフェ、インターナショナルショー、外国人相談

2012 ワン・ワールド・フェスタ in みやこ

開催日 平成 25 年 2 月 16 日（土）

会場 宮古市勤労青少年ホーム（宮古市宮町）

参加者 120 人

共催 オーシャンズ宮古国際交流倶楽部

プログラム 外国紹介ブース、民族衣装の試着、世界の食、中国料理講座、外国の遊び、国際卓球大会、外国人相談コーナー

ワン・ワールドで踊ろう「さんさ踊り」

「2012 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の一環として、在住外国人が岩手の伝統芸能への理解を深め、より多くの県民との交流を図ることを目的に、

被災地からの参加も含め、在住外国人や賛助会員、一般県民の方々とともに、「盛岡さんさ踊り」に参加し広く一般県民に県内在住の外国人の存在をPRした。また、「パフォーマンス賞」を受賞した。

参加日 平成 23 年 8 月 2 日（火）

参加人数 146 人（13 か国）

外国文化紹介講師派遣

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、県内で開催される外国文化理解に関する行事等に、国際交流員、海外研修員や「いわて留学生大使」等を講師として派遣した。派遣先は、県内各地に広がり、また学校だけでなく、地域の集まりなどにも拡大し、より幅広い年代の方々と交流することができた。

・派遣回数 44 回 参加者 3,540 人（前年度 31 回 2,624 人）

| 派遣日 | 派遣先団体（会場） | 派遣講師（国籍等） | 事業内容 | 参加者数 |
|----------------------------|----------------------------------|--|------|------|
| 平成 24 年 5 月 24 日 | フレンズ国際愛児園 （同上） | ローリー・カラハンさん （アイルランド） | 国際理解 | 25 |
| 6 月 19 日 | 上米内老人福祉推進会 （上米内老人福祉センター） | 宮 静さん （中国） | 料理講座 | 16 |
| 6 月 22 日 | 岩手県立花巻南高等学校 （同上） | アマンダ・クリプスさん（アメリカ） | 国際理解 | 79 |
| 6 月 24 日 | 花巻ホームステイ協会 （ホテル花城） | アマンダ・クリプスさん（アメリカ） | 国際理解 | 15 |
| 6 月 26 日 | 久慈市立三崎中学校 （アイーナ） | ローリー・カラハンさん （アイルランド） | 国際理解 | 16 |
| 7 月 20 日 | 岩手県立産業技術短期大学 （同上） | 宮 静さん（中国） | 国際理解 | 23 |
| 7 月 28 日 | 岩手県立児童館子どもの森 （同上トントン） | ミランダ・カロールさん（ペルー） | 料理講座 | 17 |
| 8 月 18 日 | 金ヶ崎町国際交流協会 （金ヶ崎町中央生涯教育センター） | 金 倫煥さん（韓国） | 調理講座 | 13 |
| 8 月 27 日 | じゃらんじゃらん （盛岡市立見前南小学校） | イアン・サトルさん（アイルランド） | 国際理解 | 60 |
| 8 月 31 日 | 岩手県立産業技術短期大学 （同上） | 宮 静さん（中国） | 国際理解 | 110 |
| 9 月 3 日、4 日 5 日、6 日 7 日 | 岩手県警察本部刑事部組織犯罪対策課 （岩手県警察学校） | 宮 静さん（中国） イアン・サトルさん（アイルランド） 呉 慧敏さん（中国） | 語学講座 | 35 |
| 9 月 5 日 | 久慈市立三崎中学校 （同上） | 宮 静さん（中国） イアン・サトルさん（アイルランド） | 国際理解 | 16 |
| 9 月 18 日 | NPO 法人 HARP （奥州市水沢区大鐘南地区センター） | 王 暁さん（中国） | 国際理解 | 16 |

| | | | | |
|---------------------|---------------------------------|---|------|-----|
| 10月20日 | 岩手県立図書館 (同上図書コーナー) | ミランダ・カロールさん(ペルー) | 国際理解 | 29 |
| 10月29日 | 葛巻町立江刈小学校 (同上体育館) | イアン・サトルさん(アイルランド) アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 46 |
| 10月30日 | 盛岡市立山王小学校 (同上) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 182 |
| 10月31日 | 一関国際交流協会 (一関小学校) | アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 50 |
| 11月1日 6日 | 岩手町立沼宮内保育所 (同上) | アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 90 |
| 11月12日 | 盛岡市立城北小学校 (同上) | 宮 静さん(中国) イアン・サトルさん(アイルランド) アマンダ・クリプスさん(アメリカ) 金 倫煥さん(韓国) | 国際理解 | 116 |
| 11月13日 | 葛巻町立小屋瀬小学校 (同上体育館) | 宮 静さん(中国) イアン・サトルさん(アイルランド) アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 27 |
| 11月16日、30日 2月22日 | 盛岡市立仁王小学校 (同上教室) | 宮 静さん(中国) アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 225 |
| 12月2日 | 子育てサポートセンター (アイーナ6F世代間交流室) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 319 |
| 12月4日 | 青山保育園地域子育て支援センター (月が丘児童センター) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 85 |
| 12月6日 | 北上西ロータリークラブ (ホテルシティプラザ北上) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 10 |
| 12月7日 | 盛岡市立東見前保育園 (東見前保育園ホール) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 300 |
| 12月8日 | 盛岡市立さくらがおか保育園 (同上) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 120 |
| 12月9日 | 盛岡市立つなぎ幼稚園 (同上) | ディーン・ホルデン・ルツラーさん (アメリカ) | 料理講座 | 45 |
| 12月15日 | 岩手のまちづくりを考える会 (岩手県公会堂) | マルクス・ロスケンさん (ドイツ) | 国際理解 | 20 |
| 12月15日 | 陸前高田市国際交流協会 (米崎コミュニティセンター) | アラム・モハマッド・カイルルさん (バングラディッシュ) | 国際理解 | 152 |
| 12月17日 | 盛岡市立みたけ保育園 (同上) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 128 |

| | | | | |
|----------------------|--|--------------------------|------|-----|
| 12月19日 20日 21日 | 下太田保育園 (みどり保育園、青空保育園、よつば保育園、下太田保育園) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 300 |
| 12月20日 | 社会福祉法人 愛育園地域子育て支援センター (愛育園ホール) | デビッド・ルテラさん(アメリカ) | 国際理解 | 48 |
| 12月23日 | 川崎21世紀国際交流クラブ (一関市立川崎公民館) | 宮 静さん(中国) | 国際理解 | 50 |
| 12月25日 | 盛岡市立月が丘児童センター (同上) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 51 |
| 平成25年 1月11日 | 一関市国際交流協会 (山目小学校) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 60 |
| 1月27日 | 矢巾町西徳田1区公民館 (同上) | 劉 傑さん(中国) | 料理講座 | 25 |
| 1月27日 | 矢巾町国際交流協会 (矢巾町公民館) | 金 亨烈さん(韓国) | 国際理解 | 60 |
| 1月27日 | (公財)花巻国際交流協会 (花巻市交流会館) | 東ヴァネッサさん(ブラジル) | 国際理解 | 33 |
| 2月16日 | オーシャンズ宮古国際交流倶楽部 (宮古市勤労青少年ホーム) | カレン・アレラ・セニさん (ソロモン諸島) | 国際理解 | 200 |
| 2月17日 | 紫波町国際交流協会 (紫波グリーンホテル) | 張 博さん(中国) | 国際理解 | 40 |
| 2月20日 | 一関国際交流協会 (中里小学校) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 60 |
| 2月27日 | 一関国際交流協会 (赤萩小学校) | アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 40 |
| 3月12日 | 岩手県立軽米高等学校 (同上) | アマンダ・クリプスさん(アメリカ) | 国際理解 | 138 |
| 3月21日 | 一関国際交流協会 (萩の子クラブ) | イアン・サトルさん(アイルランド) | 国際理解 | 50 |

ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより家族ぐるみで外国人と交流する機会を得るために、受入れ希望家庭にはホストファミリーの登録をしてもらう。海外から家族で来日して外国人の受入れを行った。

・登録者 133 家庭 活用 6 件(前年度 125 家庭、 3 件)

いわて国際化人材の登録・活用

通訳や翻訳、講座の講師、料理講座や踊りなど伝統文化の紹介などの依頼に対応するために、外国人や海外経験のある人材を登録し依頼に応じて紹介を行った。

様々な言語の依頼に対応できるよう登録者の拡大を図り、インドネシア語やベトナム語など希少言語の依頼にも対応した。

・登録者 個人 262 人 団体 7、依頼件数 76 件、活用件数 63 件
 (前年度 " 256 人 " 7 " 63 件 " 59 件)

国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成した。

・助成数 7 件 助成総額 504 千円
 (前年度 7 件 " 504 千円)

| 事業名 | 主催団体 | 助成額 (総事業費) |
|--------------------------|-----------------|--------------------------|
| 「地域住民と在住外国人等との交流」事業 | 川崎 21 世紀国際交流クラブ | 60,000 円 (184,139 円) |
| スタディーツアー in マニラ | 盛岡・マニラ育成会 | 100,000 円 (280,231 円) |
| 日本語指導のための研修会 in 北上 | 北上市国際交流ルーム | 35,000 円 (70,016 円) |
| 第 22 回外国人による日本語スピーチコンテスト | 国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ | 99,000 円 (368,309 円) |
| 日中友好 留学生との交流会 | 盛岡市日中友好協会 | 76,000 円 (188,638 円) |
| 英語語学講座 | 一関国際交流協会 | 75,000 円 (286,500 円) |
| チャリティーコンサート | 岩手サークル of フレンズ | 59,000 円 (142,774 円) |

(3) 国際理解の推進

企画展示

日中国交正常化 40 周年記念、ロンドンオリンピック、新渡戸稲造 150 周年記念、「国際リニアコライダー」「大草原の小さな家～ローラの世界」など、タイムリーなテーマを取り上げ、年間を通じて「企画展示」を開催した。特に、「大草原の小さな家」については、ちゃっとランドと連携し展示にまつわる講演を同時開催したことから、県内外から多くの方々に足を運んでもらった。また、「国際リニアコライダー」については、県や市町村の発行物を英語に翻訳し、外国人の方々にも周知するとともに、スイスの多文化共生社会についても紹介するなど、協会の特徴を出すべく国際交流や多文化共生の視点から誘致の意義について発信した。

開催場所 国際交流センター内 展示コーナー

| 期間 | タイトル(協力団体等) |
|------------------------------|---|
| 平成 24 年 5 月 15 日～5 月 30 日 | 「プレ新渡戸稲造生誕 150 周年企画展示」 |
| 6 月 1 日～6 月 29 日 | 「日中国交正常化 40 周年記念企画展示」 (日中友好文通の会、日本中国友好協会、岩手県日中友好協会、中国帰国者通訳奉仕会、NPO 特定非営利活動) |

| | |
|-----------------------|---|
| | 法人 日本山西省友好協議会、岩手山西会、中国国家観光局、公益社団法人 日本中国友好協会、独立行政法人国際協力機構) |
| 7月3日～8月12日 | 「オリンピック開催記念～アジア初の金メダリスト～」 |
| 8月20日～9月2日 | 「新渡戸稲造生誕150周年記念～to beを人生の目的に～」 (先人記念館、花巻新渡戸記念館、新渡戸基金) |
| 9月5日～9月30日 | 「持続可能な暮らしと社会～ドイツ環境保全展～」 (ドイツ大使館) |
| 11月1日～11月30日 | 「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」 |
| 平成25年 12月17日～1月16日 | 「ローラ物語の世界」 (谷口由美子さん、佐藤清子さん、立花利根さん、リトルクラブハウス、福音館書店、岩波書店、東洋書林、世界文化社、悠書館) |
| 1月29日～ | 「国際リニアコライダー展」 (岩手県、一関市、AAA広報部、奥友由美子さん) |

(4) 国際交流団体等との連携

国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体の活動の活性化を図るために、各団体間の意見交換や情報交換のほか、当協会との情報共有の機会として関係団体連絡会議を国際交流センターで開催したほか、地域での意見交換会を宮古市で開催した。

多くの団体から、会員の高齢化や減少、活動のマンネリ化などの課題が出ている。宮古市で開催した沿岸地域の団体対象の意見交換会では、震災後の外国人や各団体の状況、また現在の課題などについて活発な意見交換が行われた。震災で多くの会員が被災した団体からは、いまだに活動再開していないことや団体の解散についての報告などが出された。

国際交流関係団体連絡会議

- ・開催日 平成25年2月14日(木)
- ・会場 国際交流センター
- ・参加者 26団体27人(前年度 28団体54人)

国際交流関係団体地域意見交換会

- ・開催日 平成25年1月23日(水)
- ・会場 宮古市民総合体育館(宮古市小山田)
- ・参加者 10団体14人(前年度 9団体16人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 145 団体（前年度 147 団体）

| 分野 | 団体数 |
|---------------|-----|
| 国際理解 | 22 |
| 国際協力 | 10 |
| 日本語教室 | 8 |
| 青少年 | 13 |
| 学校・教育・文化・スポーツ | 16 |
| 経済・観光 | 5 |
| 二カ国間交流 | 36 |
| 市町村・一般 | 35 |

国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催団体として支援を行った。

ア 多文化キッズキャンプ 2013

- ・主催 いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会
- ・開催日 平成 25 年 1 月 12 日（土）～ 13 日（日）
- ・会場 岩手山青少年交流の家
- ・参加者 45 人（内外国籍の子どもは 23 人。国籍数 6）
- ・内容 幼稚園児から大学生まで、幅広い年齢の外国につながる子供たち（親が外国人）が参加し、大学生ボランティアやサポーターの方々から教科学習や日本語学習をサポートしてもらったり、スポーツやゲームを通じて交流を行った。

イ 三陸復興日独サマースクール

県民講座「ボットロップ市長から学ぶドイツの努力と取組み」

- ・主催 ドイツの脱原発・再生可能エネルギーから学ぶ講演会・シンポジウムを成功させる実行委員会
- ・開催日 平成 25 年 9 月 13 日（木）
- ・会場 アイーナ 7 階 アイーナホール
- ・参加者 約 150 人
- ・内容 ドイツ ボットロップ市長のベルント・ディシュラー氏を講師に迎え、脱原発や再生可能エネルギーへの転換についてドイツの取組みについて講演を行った。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

国際社会で活躍できる次世代の人材を育成するため、海外留学等に関心ある県内在住の高校生、大学生などを対象に、留学の意義を考える講演、コミュニケーションやプレゼンテーションの手法、岩手の文化について、語学研修、留

学疑似体験の合宿研修、留学などに必要な情報や知識を得るセミナーを開催し、海外留学への啓発普及を図った。

合宿研修では留学生と寝食をともにして過ごし、多様な国から来た留学生との異文化体験は留学をイメージする成果があった。また、2日間英語中心に過ごすことにより英語でのコミュニケーション能力の向上につながった。

開催場所；アイーナ及び安比高原ホテル

参加者：延べ 119 人（前年度 44 人）

【内容】

第 1 回 講演会「海外に飛び出そう！」

日時：平成 24 年 11 月 24 日（土）13 時 30 分～16 時

講師：政策研究大学院大学教授 小松正之氏

第 2 回 「コミュニケーション&プレゼンテーションの手法を学ぶ」

日時：平成 24 年 12 月 1 日（土）13 時 30 分～15 時

講師：クリントン・フェアバンクス（元県国際交流員）

第 3 回 「岩手を伝える」

日時：平成 24 年 12 月 15 日（土）13 時 30 分～15 時

講師：当協会理事長 安藤 厚

第 4 回 「合宿研修 in APPI」

日時：平成 25 年 1 月 8 日（火）～9 日（水）

第 5 回 講演「留学実現へのステップ」

日時：平成 25 年 1 月 20 日（日）14 時～16 時

講師：留学カウンセラー 今入亜希子氏

インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため、岩手県経営者協会が主催するインターンシップ・プログラムの受入れのほか、教員の社会体験研修の受入れも行った。

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| ・盛岡北高等学校 | 平成 24 年 7 月 | 教員 1 人 |
| ・岩手大学、岩手県立大学 | 平成 24 年 9 月 | 大学生 2 人 |
| ・釜石高等学校 | 平成 24 年 10 月 | 教員 1 人 |
| ・前沢高等学校 | 平成 24 年 12 月 | 教員 1 人 |
| ・久慈東高等学校 | 平成 24 年 12 月 | 教員 1 人 |
| ・岩手大学 | 平成 25 年 3 月 | 大学生 1 人 |

地域国際化リーダー研修会の開催

地域国際化リーダーを育成するため、国際交流関係団体の職員等を対象とした研修会を、国際交流連絡会議開催と同日に国際交流センターで開催した。

パネルディスカッション

「日本における外国語教育 ～グローバル人材の育成～」

- ・コーディネーター

日本貿易振興機構(JETRO)盛岡貿易情報センター所長 林 道郎 氏

- ・ パネラー
 岩手県立不来方高等学校中国語講師 席 時宜氏（中国）
 岩手医科大学共通教育センター非常勤講師 遠藤スサンネ氏（スイス）
 岩手大学教育学部准教授 ジェームス・ホール氏（アメリカ）
- ・ 開催日 平成 25 年 2 月 14 日（木）
- ・ 参加者 26 団体 26 人（前年度 28 団体 54 人）

(2) 海外研修員等の受入れ

海外研修員等のサポート

県から委託を受けて、県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び県費留学生の研修等がスムーズに行われるよう生活上の支援を行うとともに、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートを行った。

| 区 分 | 氏名 | 期 間 | 出身国 | 研修(内容)・留学先 |
|------------|--------|-----------------------------|------|------------|
| 海外自治体職員研修員 | 朴 蓮姫 | 平成 24 年 6 月～ 平成 25 年 5 月 | 中国 | 岩手県 |
| 県費留学生 | 東ヴァネッサ | 平成 24 年 9 月～ 平成 25 年 3 月 | ブラジル | 岩手大学 |

4 震災被災者の支援

東日本大震災津波多言記録集の作成

被災地外国人相談員及び被災市町村国際交流協会等の協力により、被災地の在住外国人が体験した震災時の様子やその後の生活の変化などインタビュー形式でまとめたものを掲載した。また、被災市町村などの協力により各地域の震災津波の写真の掲載や震災津波のデータを掲載した。加えて、日常における防災意識を高めるための緊急時・災害時の心構えも掲載した。

言語 日本語、英語、中国語

規格 A4 版(全言語併記)

作成部数 5,500 部

在住外国人へのオリエンテーションの実施

県内市町村の協力により、外国人実習生や日本語教室参加者などを対象とし、生活上必要な情報、災害時における心構えや在留資格についての情報など、地域のニーズに合わせてオリエンテーションを実施した。

| 開催日 | 開催会場 | 参加人数 | 国籍等 |
|--------|--------------|------|---------------------|
| 8月28日 | 釜石市 シープラザ | 12人 | 中国・水産加工実習生 |
| 9月15日 | 一関市川崎 川崎公民館 | 20人 | フィリピン16人、中国2人、韓国2人 |
| 10月19日 | 宮古市 カトリックカフェ | 3人 | タイ1人、英国1人、中国(香港)1人 |
| 10月24日 | 雫石町 中央公民館 | 10人 | ベトナム7人、フィリピン1人、中国2人 |
| 10月28日 | 二戸市 地域振興センター | 5人 | フィリピン3人、中国2人 |
| 1月7日 | 八幡平市 松尾地区公民館 | 5人 | フィリピン1人、中国4人 |

被災地外国人相談

震災被災地で外国人支援を身近に実施するため、被災地外国人相談員を委嘱し、協会と連絡調整を図りながら活動していただいた。

・被災地外国人相談員

宮古市、山田町担当；佐々木匡人氏（オーシャンズ宮古国際交流倶楽部代表）

釜石市担当；加藤直子氏（釜石市国際交流協会事務局長）

大船渡市、陸前高田市担当；大和田加代子氏（陸前高田市国際交流協会日本語教室講師）

・委嘱期間 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

シンポジウムの開催

東日本大震災被災地岩手・宮城・福島三県地域国際化協会からの報告。三県国際交流協会が連携し、震災復興における外国人支援の状況や課題などをテーマにしたシンポジウム及び被災地視察「伝える・支える・立ち上がる・・・未来に繋げ、私たちの経験」を実施した。

(ア) シンポジウム

日 時 平成 24 年 7 月 5 日（火） 14:30 から

会 場 ホテル法華クラブ仙台

内 容 ・三県の復興に向けた取り組み

・パネルディスカッション「あのとき、現場では何が起こり、我々はどう動いたか？」

・分科会「伝える・支える・立ち上がる」

分科会 A 多言語による災害情報提供は？

分科会 B 被災外国人に対する生活復興支援は？

分科会 C 外国人による自助組織・ネットワークは？

・全体共有

(イ) 現地視察

日 時 平成 24 年 7 月 6 日（水）

視察先 宮城県南三陸町

(5) 東日本大震災津波に関する調査研究

被災地に世界の数多くの国や地域から様々な支援が寄せられたことから、岩手県国際交流関係団体連絡会議に加盟する団体が窓口や仲介役となった支援・援助について調査を行い、平成 24 年 8 月 10 日、報告書を作成した。

なお、平成 23 年度には被災した在住外国人を対象とした「東日本大震災津波災害時対応に関わる調査」（平成 24 年 3 月 31 日）及び市町村を対象とした「災害時における国際交流の意義に関するアンケート調査」（岩手県立大学佐藤智子教授との共同調査 平成 24 年 3 月 31 日）を実施しており、これで調査研究の 3 本の報告書がまとまった。

調査対象 岩手県国際交流関係団体連絡会議に加盟する団体のうち 127 団体

調査機関 平成 24 年 6 月 19 日 ~ 平成 24 年 8 月 10 日

< 管理部門 >

評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、評議員選定委員会及び専門委員会の開催状況は、次のとおりである。

1 評議員・理事会等

評議員選定委員会

ア 開催日 平成 24 年 4 月 27 日（金）

イ 開催場所 アイーナ 5 階国際交流センター

ウ 決議事項

補欠の評議員の選任

エ 出席等

決議に必要な出席委員の数 3 名、出席 4 名、欠席 1 名。理事同席 2 名。

第 5 回理事会

ア 開催日 平成 24 年 6 月 7 日（木）

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 3

ウ 決議事項

平成 23 年度事業報告及び附属明細書の承認

平成 23 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認

理事会運営規程の一部改正

定時評議員会の招集

エ 報告事項

評議員及び役員の退任

評議員選定委員会の決議内容

職務の執行の状況

平成 24 年度県出資等法人運営評価シート

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 9 名。監事出席 2 名。

第 3 回評議員会

ア 開催日 平成 24 年 6 月 27 日（水）

イ 開催場所 アイーナ 801 会議室

ウ 決議事項

補欠の理事の選任

平成 23 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認

エ 報告事項

評議員及び理事の退任

評議員選定委員会の決議内容

理事会の決議内容

平成 23 年度事業報告及び附属明細書

平成 24 年度事業計画書及び収支予算書

職務の執行の状況

資金運用の経過及び結果

平成 24 年度岩手県出資等法人運営評価

オ 出席等

決議に必要な出席評議員の数 7 名、出席 9 名、欠席 3 名。監事出席 1 名、理事出席 2 名。

評議員選定委員会

ア 開催日 平成 24 年 8 月 27 日（月）

イ 開催場所 アイーナ 5 階国際交流センター

ウ 決議事項

補欠の評議員の選任

エ 出席等

決議に必要な出席委員の数 3 名、出席 4 名、欠席 1 名。理事同席 2 名。

第 6 回理事会

ア 開催日 平成 24 年 11 月 8 日（木）

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 3

ウ 決議事項

平成 24 年度事業計画書の一部変更

平成 24 年度収支予算書の一部変更

公益財団法人岩手県国際交流協会就業規則の一部改正

公益財団法人岩手県国際交流協会非常勤職員及び臨時職員就業規則の一部改正

再雇用に関する規程の制定

育児・介護休業等に関する規程の制定

個人情報保護規程の一部改正

エ 報告事項

評議員及び役員の退任

評議員選定委員会の決議内容

第 3 回評議員会の決議事項等

職務の執行の状況

資金運用の経過及び結果

中期経営目標の進捗状況

平成 23 年度事業の評価

平成 24 年度県出資等法人運営評価

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 9 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

第 7 回理事会

ア 開催日 平成 25 年 3 月 25 日（月）

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 3

ウ 決議事項

平成 25 年度事業計画書及び収支計算書の作成

国際交流・協力・多文化共生活動支援助成規程の一部改正

県出資等法人に係る中期経営計画書(平成 24 年度～平成 26 年度)の時点修正

東北・北海道における災害時外国人支援ネットワークに関する協定の締結
地域国際化協会連絡協議会における災害時の広域支援に関する協定の締結
の同意

エ 報告事項

職務の執行の状況

資金運用の経過及び結果

コンプライアンスの状況

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 10 名。監事出席 2 名。

2 専門委員会

第 1 回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成 24 年 9 月 21 日(金)

イ 開催場所 アイーナ 5 階ミーティングルーム

エ 審議事項

平成 23 年度実施事業の評価

オ 出席等

専門委員 8 名、理事 1 名。

第 2 回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成 25 年 2 月 22 日(金)

イ 開催場所 アイーナ 6 階団体活動室 3

ウ 審議事項

平成 25 年度事業計画(素案)

エ 出席等

専門委員 5 名、理事 1 名。

立入検査等

平成 24 年 11 月、公益法人法に基づく監督行政庁(岩手県知事)の立入検査があり、平成 23 年度の事業運営及び決算全般について検査を受けたが、公益法人運営上、特に問題となる事項はなかった。

また、平成 24 年 11 月、地方自治法に基づく岩手県監査委員による財政的援助団体等に係る監査があり、平成 23 年度の経営及び財政的援助全般について監査を受けたが、法人運営上、特に問題となる事項はなかった。

業務執行体制等

1 職員の状況

県から派遣されていた職員（事務局次長）の引き揚げに伴い、後任の事務局次長に法人職員の中から昇任させるとともに、新規に法人職員 1 名を採用した。また、非常勤専門職員（スタッフ）4 名の退職等に伴い、後任の非常勤専門職員（スタッフ）4 名を補充採用した。同じく、非常勤補助員（学生アルバイト）1 名の退職に伴い、後任の非常勤補助員 1 名を補充採用した。第 4 四半期からは、新たに韓国語での相談に応じる非常勤相談員（外国人相談専門員）1 名を委嘱した。

平成 24 年度末の事務局職員数は、常勤職員 3 名、非常勤専門職員 7 名、臨時職員 1 名、非常勤相談員 2 名、非常勤補助員 5 名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

2 コンプライアンス体制及び職員研修

職員に対して当協会の目的や内部規程等の理解を図る目的で、平成 24 年 4 月及び 12 月並びに平成 25 年 1 月の 3 回、理事長講話・訓示を行うとともに、平成 24 年 4 月に職員研修会を開催した。

また、平成 25 年 2 月、規程に基づく事務局内コンプライアンス委員会において平成 24 年度におけるコンプライアンスの状況の確認を行い、理事会に報告した。

3 JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成 24 年度も継続配置した。

4 自動車リース契約の締結

平成 24 年 12 月、協会の事業活動に使用している自動車の老朽化に伴い、自動車 1 台のリース契約（5 年間）を新規に締結した。

5 賛助会員特典提供協定書の締結

平成 24 年 7 月、賛助会員の加入促進を図るため、賛助会員に対して特典サービスを提供する飲食店 17 店と協定を締結した。

寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

次の 7 件 240,000 円の寄附金を受け入れた。

基本財産寄附金
 1件 50,000円
 一般寄附金
 5件 140,000円
 協賛寄附金
 1件 50,000円

2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成24年3月から5月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を差し上げたほか、通年、イベント開催時に参加者に賛助会員入会を呼びかけた。平成24年度の新規入会は47件あった。

平成24年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

| | 平成24年3月末 | 入 会 | 退 会 | | 平成25年3月末 | 増 減 |
|------|----------|-----|-----|------|----------|-----|
| | | | 退会届 | 職権退会 | | |
| 個人会員 | 373 | 41 | 15 | 0 | 399 | 26 |
| 学生会員 | 15 | 4 | 1 | 0 | 18 | 3 |
| 団体会員 | 61 | 2 | 2 | 0 | 61 | 0 |
| 合 計 | 449 | 47 | 18 | 0 | 478 | 29 |

平成 24 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 25 年 6 月

公益財団法人岩手県国際交流協会